

2025 つながるフェス

～清川村特産品開発プロジェクト～

Q. プロジェクトではどんなことを行うんですか？（メディア情報学科・2年生）



清川村役場の方や企業の方と一緒に特産品の考案・試作などの商品開発をしました。作った特産品は道の駅や相生祭で実際に販売されます！（社会マネジメント学科・2年生）



清川村では地域のものを使った特産品開発をしました。（メディア情報学科・3年生）



清川茶やはちみつなどの清川村の特産品を使用した新しい商品を考案し、道の駅清川で販売する商品を開発するプロジェクトです。最終的な商品開発に向けて、清川村や商品開発に関する学習、アンケート調査、調査からの考察や提案などを行っています。新しい商品を開発するために、清川村や企業の方々から、清川村がどのようなところなのか、商品開発には何が必要なのかや大事なのかのお話を伺い、学習を行った後、地元の方にアンケート調査を行いニーズ等を調べて、その結果をもとに考察し、分析を行いました。（健康栄養学科・2年生）



私は今年初参加なのですが、まずは清川村について具体的には何があるのか、住んでいる方やお店にくる年齢層の割合、特産品について学びます。次に商品開発、商品企画について実際に経験のある方からお話を聞きます。その後、今年は道の駅を利用する方に実際に自分たちでグループ毎に何日間かアンケートをとり、そのデータを元に開発する商品を決めました。グループ毎にどうしてそれを選んだのかを発表し、良かったところと改善点をみんなで出し合います。以降はまだ進んでいない

状況です。より具体的に知りたい様でしたら説明会に参加するのが一番です。説明会はプロジェクトによっては年に1回しか開催されないものもあるため、興味を持った時点で参加することをお勧めします。(メディア情報学科・2年生)

Q. このようなプロジェクトに参加したことがないため、1番最初に参加しやすいプロジェクトはありますか？(日本語日本文学科・1年生)



清川村のプロジェクトは参加しやすかったです！(日本語日本文学科・2023年度卒業生)



何でも大丈夫だと思います。(メディア情報学科・3年生)



一つのプロジェクトにしか参加していないため、分からない部分もありますが、「もとみや **SMILE** プロジェクト」や「丸山千枚田魅力発信プロジェクト」

では、プロジェクト学生でなくても、単発で稲刈りや田植え体験ができると聞いたことがあるため、挑戦しやすいと感じました。また、私自身が参加をしている、「清川村特産品開発プロジェクト」も参加しやすいと感じています。活動の中で現地に行くこともありますが、清川村は神奈川県にあり、本厚木駅からバス一本で行くことができるため、とても行きやすいです。宿泊などもないため、スケジュールや金銭面的にも負担なく活動できています。（健康栄養学科・2年生）

Q. 1人で参加することに不安があるのですが、参加されている方はどのような方が多いですか？（日本語日本文学科・1年生）



お友達と一緒にされている方もいましたが、ひとりで参加されている方が多かったような気がします。学科もバラバラなので心配しなくて大丈夫ですよ。

（日本語日本文学科・2023年度卒業生）



清川村特産品開発プロジェクトは健康・管理栄養学科の学生が多い印象です。参加者がとても多いのですが、調理など協力して行う活動の中で友達ができやすいと思います！（社会マネジメント学科・2年生）



清川村では、友人と参加している人も多いですが、1人でもみなさん優しいので安心して参加できると思います。（メディア情報学科・3年生）



謙虚で優しい学生が多い印象です。1人で加入した学生も多く、初めはお互いに知らない状態でしたが、グループでの活動を通して、学科学年問わず交流することができています。時には意見がすれ違う時もありましたが、今ではお互いに尊重し合い、協力しながら和やかな雰囲気に取り組むことができています。また、プロジェクトに関する内容だけでなく、大学生活や趣味の話などをすることもできています。（健康栄養学科・2年生）



ひとりでも発言ができるしっかりしている人が多い。グループ行動が多いから全く不安はいらないと思う。(食物栄養学科・1年生)



大まかに言うと積極的な人です。具体的に言うと、人それぞれで大学で取り組んできたことのアピールを増やすため、就活のためという人も居れば、面白そうだと思った、興味があるから、遠出したいからといった好奇心で参加をしている人も居ます。(メディア情報学科・2年生)

Q. 参加することのメリットとデメリットはありましたか？

(日本語日本文学科・1年生)



メリットは、現地訪問や物産展での販売、商品開発などの滅多に経験できない事が沢山できることや、交流の幅が広がって新しい友達ができたりコミュニケーション能力が上がる事だと思います！デメリットはあまり感じていませんが、強

いていうなら相生祭をお客さんとして楽しむ時間が減ることや、活動がある日は予定を入れられないところかと思います。（社会マネジメント学科・2年生）



全てに当てはまると思いますが、普段できないことをできることはメリットです。デメリットは、日程が少し埋まってしまうことがデメリットだと思います。でも、休みたい日は休めるので大丈夫です。（メディア情報学科・3年生）



メリットは、交流の幅を広げることができたことと、授業だけでは得られない、商品開発などに関する学びを得られたことです。プロジェクトでは学年学科問わず、学生が集まるため、参加しなければ関わることのできなかった学生と関わることができ、交流の幅を広げられました。そのことで、様々な考え方や価値観などを得ることもできました。また、学習の中で多くのお話を伺うことができ、より具体的にリアルな情報や知識を得ることができたため、とてもためになりました。デメリットは、両立に苦労したことや忙しさが増したことです。夏休みでの活動が多かった

のですが、アルバイトや他の活動との両立に少し苦労しました。スケジュールが詰ま
ってしまい、夏休み中も忙しい日々でしたが、その分沢山の経験を積むことができた
ため、良かったとポジティブに捉えています。（健康栄養学科・2年生）



メリットは実際に商品として販売できるところ。デメリットは特にない。（食
物栄養学科・1年生）



もちろんあります。プロジェクトに限らず、両方平等で付随してきます。私の
場合は、普段関わらない学科、学年の方とお話する機会にもなり、コミュニケ
ーション能力が格段に上がったと実感しました。デメリットとしては、やはり忙しく
なったことです。でも、大学生の今でしかできない経験だと思えば有意義で毎日が充
実しているとも受け取ることができるため私はデメリットをそこまで大きく感じてい
ません！（メディア情報学科・2年生）

Q. 授業と被ってしまった場合、どうされていましたか？

(日本語日本文学科・1年生)



業生)

授業を優先させていました。全部参加しないといけない!という訳ではなかったなので心配せずに参加してみてくださいね。(日本語日本文学科・**2023** 年度卒業生)



生)

授業優先で全く問題ないです！どのプロジェクトも基本は学業優先だと思いますし、自分の参加できる範囲で活動できます！（社会マネジメント学科・2年生)



授業に行きました。(メディア情報学科・3年生)



夏休み中の活動が基本だったため、基本的に授業と活動日が被ることはありませんでした。活動日なども予め、アンケートを取っていただいたので、授業や他の予定と調整することができました。（健康栄養学科・2年生）

Q. 大学在学中にプロジェクトに加入したいと考えています。現地での活動に特に興味がありますが、コスト面が心配です。加入したきっかけや経緯を教えてください。

（人間心理学科・1年生）



2つあります。1つ目は就活で話せることが欲しかった。2つ目は新しいことをやってみたかった。です。また当時、学科横断プログラムに参加していたこともあり、その中の対象プログラムに参加した形です。交通費などは別途掛かりますが、社会人になった今でもやって良かったと思っています。（日本語日本文学科・2023年度卒業生）



私が加入したきっかけは、プロジェクトの説明会に参加したことです。学生の内に色々なことを経験したいと思い、気になるプロジェクトの説明会には積極的に参加していました。そこで入りたい！と思ったプロジェクトに加入しています！
(社会マネジメント学科・2年生)



私は、たまたま募集していたのが清川村だったのでこのプロジェクトに参加しましたが、神奈川県ということで近くなのと、交通費は支給されるのでコスト面は特に問題なく参加しました。(メディア情報学科・3年生)



私は入学前から、サガジョのプロジェクトに興味があり、在学中に参加したいという強い希望がありました。一年生では、授業で忙しかったため、参加ができず、二年生でも一年単位のプロジェクトへの参加は難しいかと悩んでいましたが、説明会などで話を聞くと、プロジェクトによっては無理なく参加ができそうだと感じ、現在のプロジェクトに参加を決めました。現地での田植え体験や稲刈り体験に興

味がありましたが、宿泊となると授業や課題との両立が難しそうだったため、もう少し負担が少なく活動できるプロジェクトを探したところ、清川村特産品開発プロジェクトを見つけました。現地での活動があるものの、神奈川県であるため行きやすく、金銭面の負担も少ないと感じ、参加しました。（健康栄養学科・2年生）



ガクチカになると思った。交通費は負担してくれる。（食物栄養学科・1年生）



そういった「詳細」が知りたい場合はまず説明会に参加してみてください！わたしが参加している清川のプロジェクトは交通費の負担がほぼ0です。説明会に参加＝活動参加になるわけではないから、気になるならまずはお話を聞きに行こう！（メディア情報学科・2年生）

Q. プロジェクトに参加したことは就職活動に活かされますか？

(日本語日本文学科・1年生)



参加した事実が役に立った、という訳では無いですが、自分自身が参加してこういった経験ができた。だからこの会社でこの経験が活かせて活躍できます！
と言えると思います。(日本語日本文学科・2023 年度卒業生)



すごく活かせると思います！プロジェクトでの経験はとても貴重ですし、メンバーや現地の方との関わりの中でコミュニケーション能力も上げられるので良いことばかりです！ガクチカに悩んでいる方はぜひ参加してみてください。(社会マネジメント学科・2年生)



ある程度参加していれば書けると思います。もちろん、参加した際に何を学んだかは人それぞれだと思うので何を書けるかは人それぞれですが。(メディア

情報学科・3年生)



活かせると思います。直接的な活動内容だけでなく、活動を経て多くの人と関わることで、様々な考え方や知識などを学ぶこともできるため、そのことから、自己成長や自己理解などにもつながることができると思っています。(健康栄養学科・2年生)



食品開発は貴重な経験になると思う。(食物栄養学科・1年生)

Q. 学業、アルバイト、プロジェクトの両立が難しく、来年からは就活も始まるのでどのように時間配分をしていたか教えていただきたいです。(人間心理学科・2年生)



やりたいことは全部やる!でも就活も行きたいところに行けるようにする!というのをモットーに学生時代していました。バイトの時間をある程度固定。(日

本語日本文学科・2023 年度卒業生)



自分の予定がある時は無理に参加しなくても良いと思います！プロジェクトの活動は強制じゃないので、私も自分の都合が合う時に参加しています。(社会マネジメント学科・2年生)



就活の合間がてら参加していました。例えば、清川村に関しては、午前の活動も多かったので、午前中はプロジェクトに参加し、午後にアルバイトに行ったりしました。(メディア情報学科・3年生)



夏休み中心の活動だったため、夏休み中のアルバイトは週**2～3**日程にし、授業期間中と同じ位のシフトで組んでいました。プロジェクトが午前で終わる日には、午後にアルバイトを入れるなど、できるだけ時間を有効に活用しました。授業

期間中に資料作りなどがある場合には、事前にいつ取り組むかを決めて、スケジュールを組み、両立しました。プロジェクトに参加する前は、アルバイトに多く時間を充てていましたが、現在は両立するために、アルバイトの時間も減らしています。（健康栄養学科・2年生）

Q. プロジェクトメンバーを増やす為に行って良かったなと思う取り組みやイベントなどあれば教えてください。（英語文化コミュニケーション学科・3年生）



今年から加入したため、増やすための取り組みは行えていません。（健康栄養学科・2年生）

Q. プロジェクトで話を進める際に連絡を行っても返信がなく、話が進まないため一人で考えることがありました。そのような経験や、どのように対処すれば良いか教えてください。（健康栄養学科・2年生）



プロジェクトでの事ではないですが、そうした経験は良くあります。対処法としては、大事な話は昼休みなどに対面で集まって行ったり、人を指定して頼んだりするのが良いのではないかと思います。(社会マネジメント学科・2年生)



返信ください！と、ド直球に言うことが大事なのかなと思います。あとは、みなさんどうですか？だと賛成です。くらいの返信しか来ないことが多いので、「1人一つは案をください」くらいの気持ちで質問するのがいいのかなと思います。(メディア情報学科・3年生)



初めは、意見を求めても回答が出ない場合などは、リーダーなどの特定の人が決めるべきことを決めざるを得ませんでした。活動日などの直接対面した時に、その場で役割を分担して、一人一人がすべきことを明確にしてから進めるようになりました。また、意見を求めるときには、期限を設ける、グループではなく個人のチャットでも良いなどとして、工夫なども行っていました。どうしても進まない時

には、リーダーなどが決めて、指示を出して進めています。（健康栄養学科・2年生）



身内同士で話し合っても、恐らく解決しないためそのプロジェクトの担当をしている連携教育推進課の方に相談しましょう！（メディア情報学科・2年生）

Q. プロジェクトの経験は社会人になった際、どのように活かされていますか。（生活デザイン学科・3年生）



現在、営業として働いていますがかなり役に立っていると思います。新しい環境に身を置いてみることをはじめ、自分自身の経験を言語化して伝えること、後輩との関わり方……気付かぬうちに自分の力になっています。（日本語日本文学科・2023 年度卒業生）



まだ学生ではありますが、プロジェクトの活動を通して大学や現地の方との関わり方やメールの送り方など社会に出て役に立つ知識が得られていると思います。そうした経験は、社会人になっても業務や社内の人とのやり取りで活かせると考えています。（社会マネジメント学科・2年生）

Q. 学業とアルバイトに加えプロジェクトのスケジュールがぎりぎりですと両立が厳しいと感じたのですが、どのように調整しましたか？（健康栄養学科・2年生）



予め単位はどれくらい取る予定か、いくら稼ぎたいかを決めて年単位、月単位で動いていました。プロジェクトを優先しすぎて単位を落とすようでは元も子もないため、隙間時間を勉強の時間として使えるようにしてみたりしていました。（日本語日本文学科・2023 年度卒業生）



私が加入しているプロジェクトはそこまで忙しくないのですが、両立が難しい場合は優先順位を考えて選んでいます。(社会マネジメント学科・2年生)



授業期間中は、学業を最優先にし、アルバイトはできるだけ減らすようにしました。課題などの時間を設けるようにして、学業が疎かにならないようにし、隙間時間にプロジェクトの資料作成や話し合いを行っていました。夏休み中心の活動でしたが、プロジェクトとアルバイトの両方を多く行うのは難しかったため、アルバイトは週 **2～3** 日程に減らし、調整しました。(健康栄養学科・2年生)



何かの時間を減らすしかありません…。時間は限られているため、例えば私の場合はこの中で一番優先度の低いバイトに入る時間、日数を減らす等の工夫をします。今1番優先したいことが何かを整理して明確にしておくとし少しキツくならないかと私は思います！(メディア情報学科・2年生)